



# 実践！自社でできる環境運動計画書



作成日:2018 年 10 月 19 日

会社名:株式会社秋田スズキ

担当者1:石黒 佐太朗

担当者2:鈴木 俊武

担当者3:宮嶋 由美子

担当者4:

## ○会社概要

昭和 29 年 1 月 設立

資本金 5,000 万円

社員数 200 名

所在地 秋田県秋田市高陽幸町 16-16

## ○業種

自動車販売業

自動車修理業

## ○事業内容

スズキ株式会社が製造する商品全般

<1>軽自動車、普通車、二輪車、セニアカーの販売

<2>自動車部品、カーライフ用品の販売、自動車保険の取り扱い

<3>自動車、二輪車、セニアカーの整備

## 《パート1 取り組む環境運動の検討・決定》

○自社でどのような取り組みが考えられるかアイデアを出そう

(業務の中で環境負荷が生じているか検討、または、環境負荷を減らす製品・サービスの創造等)

業務上使用する紙が多い → ①裏紙の利用、②シュレッダーにかけず、不要用紙の資源再利用

自動車のガソリン使用について → ③社員にはエコ運転が身についているので、お客様に推進

電気使用量の削減について → ④OA機器のこまめなONOFF

○取り組む環境運動の効果測定の方法を考えよう

(金額ベース、数量ベース、時間ベース等、回数ベース等)

①印刷用紙の購入量

②不要用紙ボックスの確認回数

③販売や定期点検等のお客様に接する機会にエコドライブを案内する回数

④電気使用量

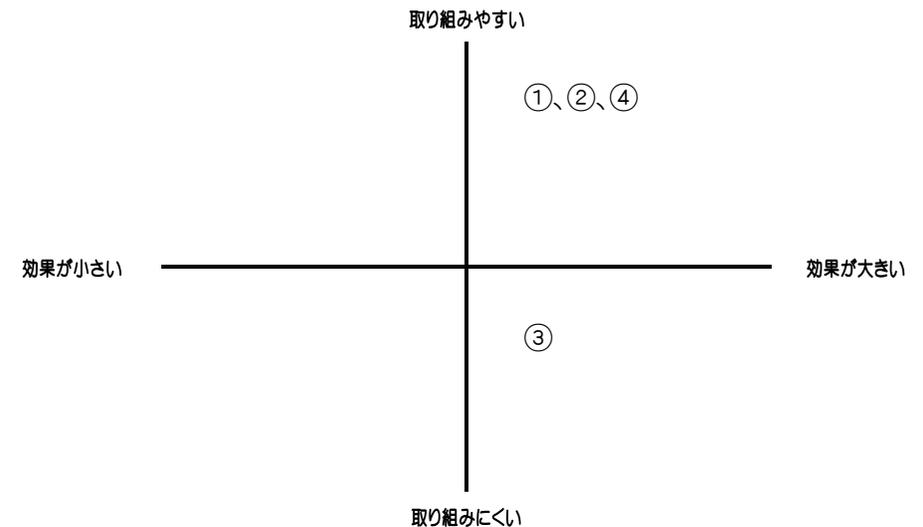
○出したアイデアの中で、取り組みやすいもの、取り組みにくいもの

効果が大きいもの、効果が小さいものを区分しよう

○取り組むうえでの制約の確認をしよう

(時間、費用、人員等)

③のお客様へのエコドライブの案内について方法を検討する必要がある



○取り組む環境運動を決定し、優先順位をつけよう

- 1位 ①裏紙の利用
- 2位 ④OA機器のこまめなONOFF
- 3位 ②不要用紙の資源再利用
- 4位 ③お客様へのエコドライブの推進

○取り組むことでどのような影響があるか考えよう

(会社にとって・世の中にとってどのように影響するか、SDGsの目標のどれにあてはまるか等)

